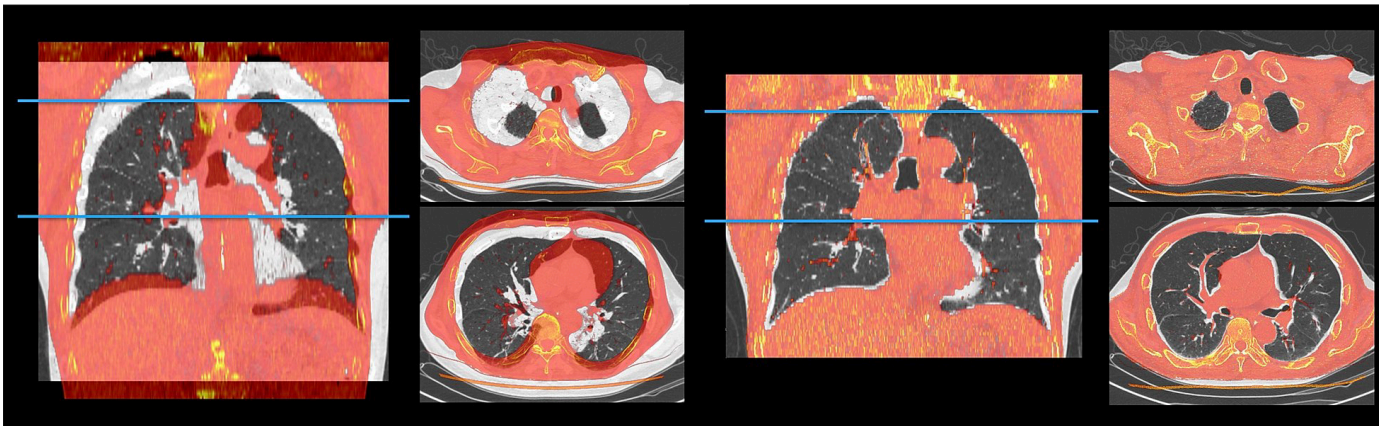




人体の不思議を解き明かす。

# PixSpace

## 自動 最適比較スライス表示技術

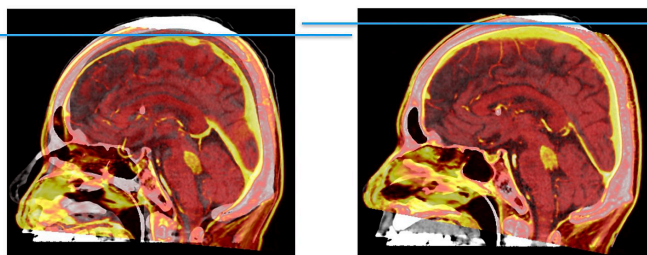


過去撮影されたデータをビューアで表示する際、寝台の位置や撮影範囲が異なるため、読影医はビューアのページング操作で比較に最適なスライスを探し、ページング同期機能（リンク機能）を用いていました。PixSpaceが開発したレジストレーション技術を用いることで比較に最適なスライスを自動で検出することができます。

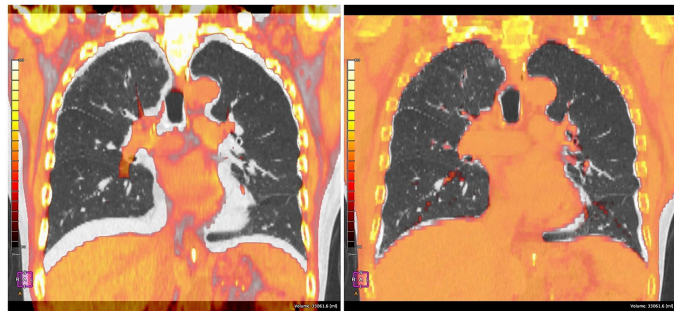
- ・データ間のズレ（移動と回転）を計算し、結果をDICOMファイルでPACSに送信します。
- ・最速3秒程度で計算するため、サーバー側で事前に処理を済ませれば、読影医が表示すると同時に最適スライスを表示できます。
- ・CT同士のみならず、異なるコントラストのMRIや、CTとMRIでも最適スliceを検出できます。

これまで過去データとの比較ではページング同期機能を動作させることができませんでしたが、この技術を実装することで過去データと比較読影時のストレスを低減します。

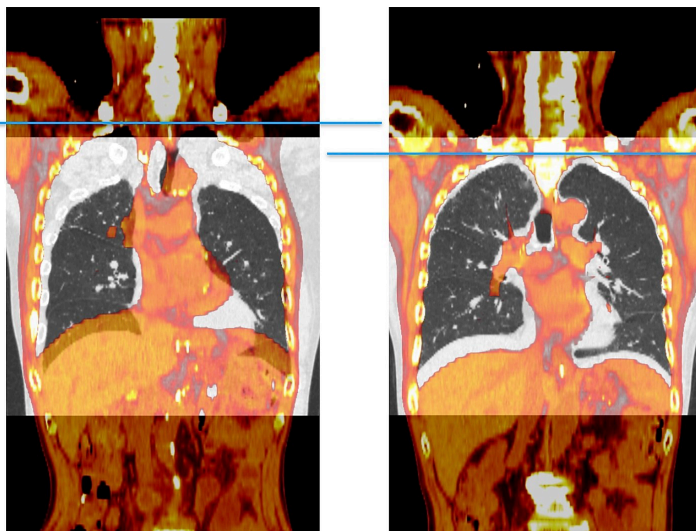
※位置ズレがわかりやすいよう片方のデータをカラーで重ね合わせています。システムへの実装時はDICOMレジストレーションファイルから体軸方向の値を抽出し、最適なスライスを表示させていただきます。



ガンマナイフ前の造影MRIと術後CTとの位置ズレ検出。



胸部CTなどの呼吸性変位を補正する技術（非剛体処理）も実装されています。



撮影範囲が異なっても問題なし。全体的に最適なスライスを検出できます。

モジュールまたは別立てのサーバーとして設置可能。ご相談に応じます。

### 【必要PCスペック】

OS: windows 10以上 MacOS X 10.7以上 memory: 4GB以上、推奨8GB CPU: Intel Core i5 2GHz以上